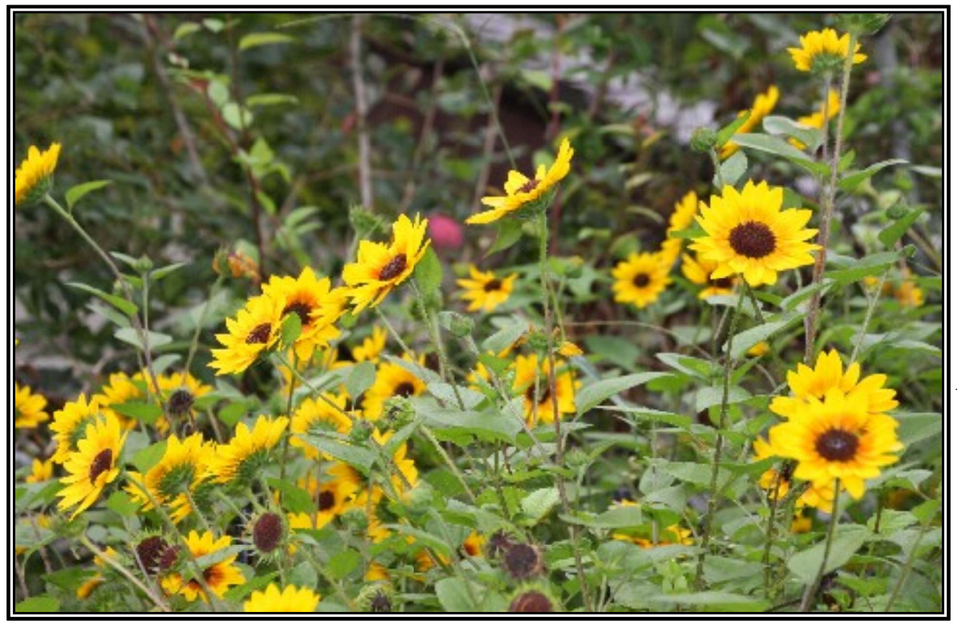


▲　一株に数輪花が咲く珍しいヒマワリ　　（田崎　隆家にて）

慧光

金光寺寺報
第２６７号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

念仏というのは　私に現れた　仏の行い

坂東 性純

今月の言葉は、他力念仏のお心を、簡潔かつ明快に表現してくださっています。

念仏は私のはたらきではなくて、阿弥陀さまの具体的な現れであります。「念仏する」という行いは、私の行いであるままが阿弥陀さまの行いであるという意味を持ちます。

親鸞聖人は、『教行信証』「行巻」に「しかるにこの行は大悲の願（第十七願）より出でたり」といわれ、また「これ凡聖自力の行にあらず」と、称名はこの私の口から出てはいますが、私の「はからい」の心から出たものではなく、阿弥陀さまの「大いなるお慈悲の願い」から出た清浄真実な行いであることを表してくださいました。

「はからい」とは論功行賞の考えのことです。功績の有無や大小に応じてふさわしい賞を与えることで、「これだけの功徳を積んだのだから、阿弥陀さまは救ってくれるだろう」と期待したり、また「このようなことでは救われるはずもない」と不安になったりと、人間の知識でもって阿弥陀さまのお救いをはかりしろうとすることなのです。

南無阿弥陀仏のお念仏は、阿弥陀さまが一切の自力の行を選び捨てて、念仏一行を選びとり、善悪・賢愚のへだてなく万人を平等に救い取ろうと願われた、選択本願の行なのです。そしてその念仏は、阿弥陀さまが南無阿弥陀仏という声・言葉となって、私たちの煩悩生活のなかに入り満ちて、煩悩という自分の殻にに閉ざされている私たちを喚び覚まし、さとりの世界へと向かわせるはたらきであって、私たちの上に現れている阿弥陀さまの行いなのです。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　１０月
　　１８日　（午後）
　　２２日　（終日）

朝顔に
釣瓶取られて
もらい水

９月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２３年　９月２１日満９３歳
小　川　松　本　久　市　様

鞍岡・９月の天候　（アメダス）
最低気温・１４．４℃（２４日）
最高気温・３２．７℃（　４日）
夏日日数・　２４日/３０日
真夏日日数・　６日/３０日
月間総雨量・69.5mm（降雨日数・9日）
一日最大雨量・２９．０mm（９日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
10月８日現在アクセス数　147,305人

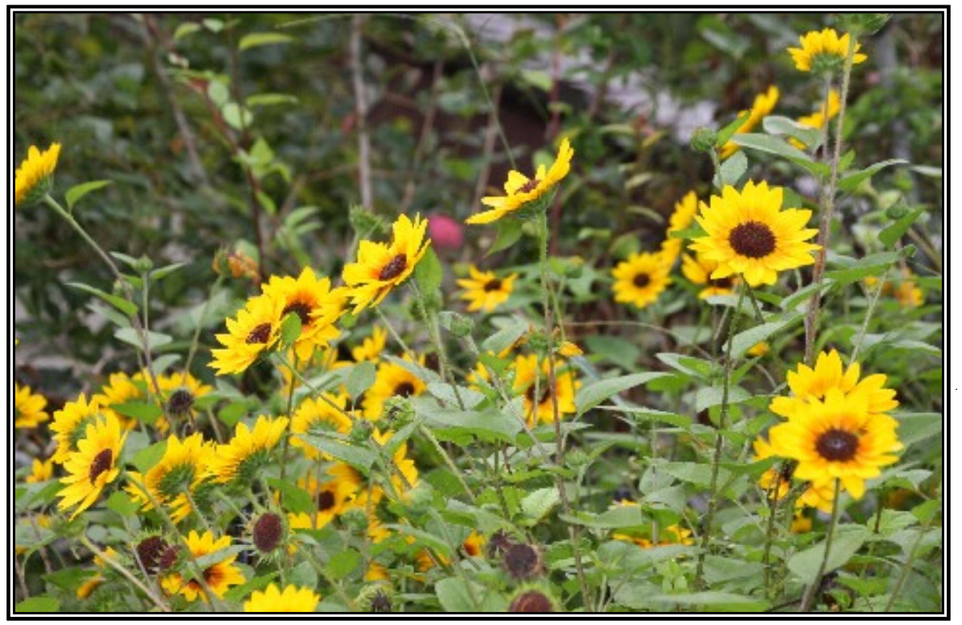
金光寺のひと月

九月

一日　佐藤和徳様　礼参り
野口英章様　三十三回忌
古小路幸男様　三回忌
二日　田中　登様　一周忌
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
四日　永野ツタエ様　満中陰
七日　第三回組長会（宮崎教務所）
十日　山本キクエ様　一周忌
山本武四様　三十三回忌
十三日　甲斐晃一家　墓地改葬
十五日　十四区寺報配布
十六日　金光寺一般会計監査
金光寺責任役員・総代会
十七日　寺司ユリ子家　先祖供養
森本晴視様　七回忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
領解文問題オンライン学習会
十九日　吉岡家納骨堂改葬
寄付アクリル銘板取付工事
二十一日　松本久市様　臨終勤行
二十二日　松本久市様　通夜
二十三日　彼岸会法要（当山）
松本久市様　葬儀、火葬
松本久市様　還骨
松本久市様　初・七日忌
二十四日　古小路江見子様　七回忌
古小路一美様　十七回忌
松本久市様　礼参り
二十五日　第四回高千穂組住職会
（三田井浄光寺）
三十日　藤岡久雄様　三回忌
青木元広様　五十回忌

住職ひとりごと

九月二十九日夜、満月
中秋の名月」私が起き
時間たはるうい
前。曇っとてこて
半見れ
月覚まて
感じ翌
終せいの
わ
ず
、
九
月
の
初
め
に
は
、
「
中
秋
の
名
月
」
と
呼
ば
れ
る
満
月
が
あ
り
ま
す
。
旧
暦
の
八
月
十
五
日
の
夜
に
見
る
月
を
中
秋
の
名
月
と
言
い
ま
す
。
今
年
の
中
秋
の
名
月
は
九
月
二
十
九
日
で
す
。
中
秋
の
名
月
は
、



▲　一株に数輪花が咲く珍しいヒマワリ　　（田崎　隆家にて）

慧光

金光寺寺報
第２６７号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

念仏というのは　私に現れた　仏の行い

坂東 性純

今月の言葉は、他力念仏のお心を、簡潔かつ明快に表現してくださっています。

念仏は私のはたらきではなくて、阿弥陀さまの具体的な現れであります。「念仏する」という行いは、私の行いであるままが阿弥陀さまの行いであるという意味を持ちます。

親鸞聖人は、『教行信証』「行巻」に「しかるにこの行は大悲の願（第十七願）より出でたり」といわれ、また「これ凡聖自力の行にあらず」と、称名はこの私の口から出てはいますが、私の「はからい」の心から出たものではなく、阿弥陀さまの「大いなるお慈悲の願い」から出た清浄真実な行いであることを表してくださいました。

「はからい」とは論功行賞の考えのことです。功績の有無や大小に応じてふさわしい賞を与えることで、「これだけの功徳を積んだのだから、阿弥陀さまは救ってくれるだろう」と期待したり、また「このようなことでは救われるはずもない」と不安になったりと、人間の知識でもって阿弥陀さまのお救いをはかりしろうとすることなのです。

南無阿弥陀仏のお念仏は、阿弥陀さまが一切の自力の行を選び捨てて、念仏一行を選びとり、善悪・賢愚のへだてなく万人を平等に救い取ろうと願われた、選択本願の行なのです。そしてその念仏は、阿弥陀さまが南無阿弥陀仏という声・言葉となって、私たちの煩悩生活のなかに入り満ちて、煩悩という自分の殻にに閉ざされている私たちを喚び覚まし、さとりの世界へと向かわせるはたらきであって、私たちの上に現れている阿弥陀さまの行いなのです。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　１０月
　　１８日　（午後）
　　２２日　（終日）

朝顔に
釣瓶取られて
もらい水

９月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２３年　９月２１日満９３歳
小　川　松　本　久　市　様

鞍岡・９月の天候　（アメダス）
最低気温・１４．４℃（２４日）
最高気温・３２．７℃（　４日）
夏日日数・　２４日/３０日
真夏日日数・　６日/３０日
月間総雨量・69.5mm（降雨日数・9日）
一日最大雨量・２９．０mm（９日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
10月８日現在アクセス数　147,305人

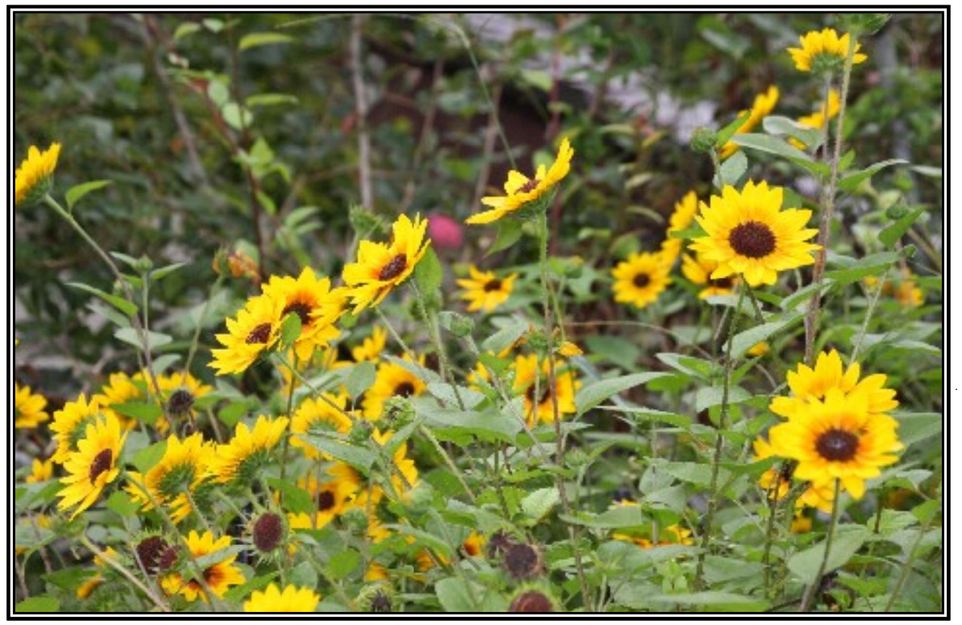
金光寺のひと月

九月

一日　佐藤和徳様　礼参り
野口英章様　三十三回忌
古小路幸男様　三回忌
二日　田中　登様　一周忌
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
四日　永野ツタエ様　満中陰
七日　第三回組長会（宮崎教務所）
十日　山本キクエ様　一周忌
山本武四様　三十三回忌
十三日　甲斐晃一家　墓地改葬
十五日　十四区寺報配布
十六日　金光寺一般会計監査
金光寺責任役員・総代会
十七日　寺司ユリ子家　先祖供養
森本晴視様　七回忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
領解文問題オンライン学習会
十九日　吉岡家納骨堂改葬
寄付アクリル銘板取付工事
二十一日　松本久市様　臨終勤行
二十二日　松本久市様　通夜
二十三日　彼岸会法要（当山）
松本久市様　葬儀、火葬
松本久市様　還骨
松本久市様　初・七日忌
二十四日　古小路江見子様　七回忌
古小路一美様　十七回忌
松本久市様　礼参り
二十五日　第四回高千穂組住職会
（三田井浄光寺）
三十日　藤岡久雄様　三回忌
青木元広様　五十回忌

住職ひとりごと

九月二十九日夜、満月
中秋の名月」私が起き
時間たはるうい
前。曇っとてこて
半見れ
月覚まて
感じ翌
終せいの
わ
ず
、
九
月
の
初
め
に
は
、
「
中
秋
の
名
月
」
と
呼
ば
れ
る
満
月
が
あ
り
ま
す
。
旧
暦
の
八
月
十
五
日
の
夜
に
見
る
月
を
中
秋
の
名
月
と
言
い
ま
す
。
今
年
の
中
秋
の
名
月
は
九
月
二
十
九
日
で
す
。
中
秋
の
名
月
は
、



▲　一株に数輪花が咲く珍しいヒマワリ　　（田崎　隆家にて）

慧光

金光寺寺報
第２６７号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

念仏というのは　私に現れた　仏の行い

坂東 性純

今月の言葉は、他力念仏のお心を、簡潔かつ明快に表現してくださっています。

念仏は私のはたらきではなくて、阿弥陀さまの具体的な現れであります。「念仏する」という行いは、私の行いであるままが阿弥陀さまの行いであるという意味を持ちます。

親鸞聖人は、『教行信証』「行巻」に「しかるにこの行は大悲の願（第十七願）より出でたり」といわれ、また「これ凡聖自力の行にあらず」と、称名はこの私の口から出てはいますが、私の「はからい」の心から出たものではなく、阿弥陀さまの「大いなるお慈悲の願い」から出た清浄真実な行いであることを表してくださいました。

「はからい」とは論功行賞の考えのことです。功績の有無や大小に応じてふさわしい賞を与えることで、「これだけの功徳を積んだのだから、阿弥陀さまは救ってくれるだろう」と期待したり、また「このようなことでは救われるはずもない」と不安になったりと、人間の知識でもって阿弥陀さまのお救いをはかりしろうとすることなのです。

南無阿弥陀仏のお念仏は、阿弥陀さまが一切の自力の行を選び捨てて、念仏一行を選びとり、善悪・賢愚のへだてなく万人を平等に救い取ろうと願われた、選択本願の行なのです。そしてその念仏は、阿弥陀さまが南無阿弥陀仏という声・言葉となって、私たちの煩悩生活のなかに入り満ちて、煩悩という自分の殻にに閉ざされている私たちを喚び覚まし、さとりの世界へと向かわせるはたらきであって、私たちの上に現れている阿弥陀さまの行いなのです。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　１０月
　　１８日　（午後）
　　２２日　（終日）

朝顔に
釣瓶取られて
もらい水

９月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２３年　９月２１日満９３歳
小　川　松　本　久　市　様

鞍岡・９月の天候　（アメダス）
最低気温・１４．４℃（２４日）
最高気温・３２．７℃（　４日）
夏日日数・　２４日/３０日
真夏日日数・　６日/３０日
月間総雨量・69.5mm（降雨日数・9日）
一日最大雨量・２９．０mm（９日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
10月８日現在アクセス数　147,305人

金光寺のひと月

九月

一日　佐藤和徳様　礼参り
野口英章様　三十三回忌
古小路幸男様　三回忌
二日　田中　登様　一周忌
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
四日　永野ツタエ様　満中陰
七日　第三回組長会（宮崎教務所）
十日　山本キクエ様　一周忌
山本武四様　三十三回忌
十三日　甲斐晃一家　墓地改葬
十五日　十四区寺報配布
十六日　金光寺一般会計監査
金光寺責任役員・総代会
十七日　寺司ユリ子家　先祖供養
森本晴視様　七回忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
領解文問題オンライン学習会
十九日　吉岡家納骨堂改葬
寄付アクリル銘板取付工事
二十一日　松本久市様　臨終勤行
二十二日　松本久市様　通夜
二十三日　彼岸会法要（当山）
松本久市様　葬儀、火葬
松本久市様　還骨
松本久市様　初・七日忌
二十四日　古小路江見子様　七回忌
古小路一美様　十七回忌
松本久市様　礼参り
二十五日　第四回高千穂組住職会
（三田井浄光寺）
三十日　藤岡久雄様　三回忌
青木元広様　五十回忌

住職ひとりごと

九月二十九日夜、満月
中秋の名月」私が起き
時間たはるうい
前。曇っとてこて
半見れ
月覚まて
感じ翌
終せいの
わ
ず
、
九
月
の
初
め
に
は
、
「
中
秋
の
名
月
」
と
呼
ば
れ
る
満
月
が
あ
り
ま
す
。
旧
暦
の
八
月
十
五
日
の
夜
に
見
る
月
を
中
秋
の
名
月
と
言
い
ま
す
。
今
年
の
中
秋
の
名
月
は
九
月
二
十
九
日
で
す
。
中
秋
の
名
月
は
、